

マツゲン箕島「今年はV」誓う

クラブチームの日本一を決める、第44回全日本クラブ野球選手権大会（日本野球連盟、毎日新聞社主催）が26日、埼玉県所沢市のメットライフドームで開幕する。県からはマツゲン箕島硬式野球部が西近畿代表として3年連続で出場する。前回、準優勝に終わった悔しさを胸に優勝を目指して練習に励んできた。チームの初戦は27日で、東海地区代表の「矢場とんブースターズ」（愛知）と対戦する。大会を前に、選手や監督を紹介する。

【後藤奈緒】

チームは有田市を拠点に活動する社会人野球チームで、所属選手全30人は県内を中心に展開するスーパードームの社員として働く。勤務時間後や休日に練習に励んでいる。エースは右腕の松尾大輝投手(22)。テンポの良い投球で打たせて取る。4年目の今年、初めてスタメン入り。西近畿予選決勝では7奪三振で完投した。西川忠宏監督(58)も「とても成長した」と太鼓判を押す。

皮膚科 アレルギー科 滋野医院

和歌山市真砂町二丁目
県庁前交差点南詰
(073)421-0781

2月下旬に肩を痛めたが、1カ月ほどウエイトトレーニングに注力した結果、以前より球筋が安定したとい

27日初戦 全日本クラブ野球選手権



フルスイングが持ち味の4番、岸翔太選手

大阪府貝塚市半田の日本生命野球部グラウンドで

岸翔太選手(26)。「安心して中軸を任せられる」と西川監督からの信頼も厚い。今年5年目の岸選手は初球からフルスイングが信

高い攻撃力発揮

予選・守備も堅実

予選5試合では、高い攻撃力を見せつけた。計8本塁打を放ち、3試合で2桁安打の猛攻を見せた。さらに積極的な足も絡め、計13盗塁を記録。すきのない攻撃で他チームを圧倒した。一方、守備も

【予選の結果】

- ◆大阪・和歌山一次予選
 - 6月16日 6-3 八尾ベースボールクラブ
 - 6月22日 10-2 NSBベースボールクラブ
 - 23-1 泉州大阪野球団
- ◆西近畿予選
 - 7月6日 11-0 ジェイエフエフシステムズ
 - 6-2 兵庫県警察硬式野球部 県警桃太郎

「短期戦勢いが大事」

西川監督インタビュー

1月にチーム名が「和歌山箕島球友会」から「マツゲン箕島硬式野球部」になった。チームに変化は。選手たちとは、会社の名前を背負っているからより頑張っている」と話している。地域倍やって初めて周りは



西川忠宏監督(58)の経歴
有田市出身。県立箕島高時代は故尾藤公監督の下で1977年春、センバツに2年生で出場して優勝。翌78年の春夏にも甲子園出場を果たした。96年に和歌山箕島球友会を発足した時の発起人。同会で99年までプレーし、引退後に監督となって今年で20年。